

建築設備 記載例

の二関係) (A 4)

定期検査報告書

(建築設備(昇降機を除く。))

(第一面)

建築基準法第12条第3項の規定により、定期検査の結果を報告します。この報告書に記載の事項は事実
に相違ありません。

特定行政庁 山梨県知事 様

所有者と管理者が異なる場
合は管理者を記入

令和〇年 〇月 〇日

報告者氏名 山梨 太郎

検査者氏名 山梨 次郎

【1. 所有者】

【イ. 氏名のフリガナ】 ヤマシ タロウ

【ロ. 氏名】 山梨 太郎

【ハ. 郵便番号】 000-0000

【ニ. 住所】 〇〇市△△1-1

【ホ. 電話番号】 055-000-0000

調査者が2名以上の場合は
代表となる調査者

【2. 管理者】

【イ. 氏名のフリガナ】 ショウシヤニオナジ

【ロ. 氏名】 所有者に同じ

【ハ. 郵便番号】

【ニ. 住所】

【ホ. 電話番号】

第二面 6、10、14 欄のいずれか 1 つでも
「要是正の指摘あり」にチェックがある
場合は「要是正の指摘あり」にチェック
第二面 6、10、14 欄の全てにおいて、「既
存不適格」にチェックがある場合は「既
存不適格」にチェック

【3. 報告対象建築物】

【イ. 所在地】 〇〇市△△1-2-2

【ロ. 名称のフリガナ】 ホテル〇〇

【ハ. 名称】 ホテル〇〇

【ニ. 用途】 ホテル、飲食店

【4. 検査による指摘の概要】

【イ. 指摘の内容】 ☒ 要是正の指摘あり (☐ 既存不適格) ☐ 指摘なし

【ロ. 指摘の概要】 換気設備、排煙設備、非常用照明装置

【ハ. 改善予定の有無】 ☒ 有 (令和〇年 〇月に改善予定) ☐ 無

【ニ. その他特記事項】

※受付欄	※特記欄
年 月 日	
第 号	
係員氏名	

第二面 6、10、14 欄に記入されている
改善予定年月日のうち、最も早い年月
日を記入

指摘された事項以外に特に報告すべき
事項があれば記入

建築設備の状況等

【1. 建築物の概要】

【イ. 階数】 地上 5 階 地下 1 階

【ロ. 建築面積】 500 m²

【ハ. 延べ面積】 2700 m²

【ニ. 検査対象建築設備】 ☒換気設備 ☒排煙設備 ☒非常用の照明装置

☐給水設備及び排水設備

山梨県では、「給水設備及び排水設備」は指定していないため、チェックしない

【2. 確認済証交付年月日等】

【イ. 確認済証交付年月日】 昭和〇年 〇月 〇日 第 000 号

【ロ. 確認済証交付者】 ☒建築主事 ☐指定確認検査機関 ()

【ハ. 検査済証交付年月日】 昭和〇年 〇月 〇日 第 111 号

【ニ. 検査済証交付者】 ☒建築主事 ☐指定確認検査機関 ()

報告の対象となっていない場合は「未実施」にチェック

【3. 検査日等】

【イ. 今回の検査】 令和〇年 〇月 〇日実施

【ロ. 前回の検査】 ☒実施 (令和〇年 〇月 〇日報告) ☐未実施

【ハ. 前回の検査に関する書類の写し】 ☒有 ☐無

【4. 換気設備の検査者】

(代表となる検査者)

【イ. 資格】 (1 級) 建築士 (大臣) 登録第 00000 号
建築設備検査員 第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】 ヤナシ ジロウ

【ハ. 氏名】 山梨 次郎

【ニ. 勤務先】 〇〇建築設計事務所

(1 級) 建築士事務所 (山梨県) 知事登録第 0000 号

【ホ. 郵便番号】 000-0000

【ヘ. 所在地】 〇〇市△△1-2-3

【ト. 電話番号】 055-000-0000

(その他の検査者)

【イ. 資格】 () 建築士 () 登録第 号
建築設備検査員 第 D0000000 号

【ロ. 氏名のフリガナ】 ヤナシ サブロー

【ハ. 氏名】 山梨 三郎

【ニ. 勤務先】 株式会社〇〇

() 建築士事務所 () 知事登録第 号

【ホ. 郵便番号】 000-0000

【ヘ. 所在地】 〇〇市△△1-1-2

【ト. 電話番号】 055-000-1111

建築設備検査員はDから始まる番号

【5. 換気設備の概要】

【イ. 無窓居室】 ☐自然換気設備 (系統 室) ☐機械換気設備 (系統 室)

☐中央管理方式の空気調和設備 (系統 室)

□その他（ 系統 室） ■無
【ロ. 火気使用室】□自然換気設備（ 系統 室） ■機械換気設備（ 2系統 2室）
□その他（ 系統 室） □無

【ハ. 居室等】□自然換気設備（ 系統 室） □機械換気設備（ 系統 室）
□中央管理方式の空気調和設備（ 系統 室）
□その他（ 系統 室） ■無

【ニ. 防火ダンパーの有無】 ■有 □無

用途が劇場、映画館、
演芸場、観覧場、公会
堂、集会場等の居室が
対象。これ以外の居室
は検査対象外

【6. 換気設備の検査の状況】

【イ. 指摘の内容】 ■要是正の指摘あり（□既存不適格） □指摘なし

【ロ. 指摘の概要】 火気使用室の換気設備、防火ダンパー

【ハ. 改善予定の有無】 ■有（ 令和〇年 〇月に改善予定） □無

「要是正の指摘あり」の場合は
指摘の概要を明記

【7. 換気設備の不具合の発生状況】

【イ. 不具合】 ■有 □無

【ロ. 不具合記録】 ■有 □無

【ハ. 改善の状況】 ■実施済 □改善予定（ 年 月に改

改善予定がある場合は改善予定
年月日を明記

【8. 排煙設備の検査者】

（代表となる検査者）

【イ. 資格】（ 1級 ）建築士（ 大臣 ）登録第 000000 号
建築設備検査員

【ロ. 氏名のフリガナ】 ヤナシ ジロウ

【ハ. 氏名】 山梨 次郎

【ニ. 勤務先】 〇〇建築設計事務所

（ 1級 ）建築士事務所（ 山梨県 ）知事登録第 0000 号

【ホ. 郵便番号】 000-0000

【ヘ. 所在地】 〇〇市△△1-2-3

【ト. 電話番号】 055-000-0000

前回検査時以降に把握した不具合等で
今回検査時に確認されなかったもの
※不具合の詳細は第三面に記載

（その他の検査者）

【イ. 資格】（ ）建築士（ ）登録第 号
建築設備検査員 第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】

（ ）建築士事務所（ ）知事登録第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

【9. 排煙設備の概要】

【イ. 避難安全検証法等の適用】 □区画避難安全検証法（ 階） □階避難安全検証法（ 階）
□全館避難安全検証法
□その他（ ）

【ロ. 特別避難階段の階段室又は付室】

☐吸引式 (区画) ☐給気式 (区画)

☐加圧式 (区画) ☒無

該当する室がないときは
「無」にチェック

【ハ. 非常用エレベーターの昇降路又は乗降ロビー】

☐吸引式 (区画) ☐給気式 (区画)

☐加圧式 (区画) ☒無

【ニ. 非常用エレベーターの乗降ロビーの用に供する付室】

☐吸引式 (区画) ☐給気式 (区画)

☐加圧式 (区画) ☒無

令 126 条の 2 第 1 項に規定する居室等で
「ロ」「ハ」「ニ」以外の居室、廊下、階
段の用に供する部分について記入

【ホ. 居室等】 ☒吸引式 (6区画) ☐給気式 (区画)

【ヘ. 予備電源】 ☒蓄電池 ☒自家用発電装置 ☐直結エンジン ☐その他 ()

【10. 排煙設備の検査の状況】

【イ. 指摘の内容】 ☒要是正の指摘あり (☐既存不適格) ☐指摘なし

【ロ. 指摘の概要】 機械排煙設備の排煙口

【ハ. 改善予定の有無】 ☒有 (令和〇年 〇月に改善予定) ☐無

【11. 排煙設備の不具合の発生状況】

【イ. 不具合】 ☐有 ☒無

【ロ. 不具合記録】 ☐有 ☒無

【ハ. 改善の状況】 ☐実施済 ☐改善予定 (年 月に改善予定) ☐予定なし

【12. 非常用の照明装置の検査者】

(代表となる検査者)

【イ. 資格】 (1 級) 建築士 (大臣) 登録第 00000 号
建築設備検査員 第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】 ヤマシ ジロウ

【ハ. 氏名】 山梨 次郎

【ニ. 勤務先】 〇〇建築設計事務所
(1 級) 建築士事務所 (山梨県) 知事登録第 0000 号

【ホ. 郵便番号】 000-0000

【ヘ. 所在地】 〇〇市△△1-2-3

【ト. 電話番号】 055-000-0000

(その他の検査者)

【イ. 資格】 () 建築士 () 登録第 号
建築設備検査員 第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】
() 建築士事務所 () 知事登録第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

【13. 非常用の照明装置の概要】

【イ. 照明器具】 ☒白熱灯 (126 灯) ☒蛍光灯 (6 灯)

☐LEDランプ（ 灯） ☐その他（ 灯）

【ロ. 予備電源】☒蓄電池（内蔵形）（居室 96灯、廊下 30灯、階段 6灯）

☐蓄電池（別置形）（居室 灯、廊下 灯、階段 灯）

☐自家用発電装置（居室 灯、廊下 灯、階段 灯）

☐蓄電池（別置形）・自家発電装置併用（居室 灯、廊下 灯、階段 灯）

☐その他（ ）

【イ. 照明器具】の数量
と【ロ. 予備電源】の数量
の整合性を確認する

【14. 非常用の照明装置の検査の状況】

【イ. 指摘の内容】 ☒要是正の指摘あり（☐既存不適格） ☐指摘なし

【ロ. 指摘の概要】照度

【ハ. 改善予定の有無】☒有（ 令和〇年 〇月に改善予定） ☐無

【15. 非常用の照明装置の不具合の発生状況】

【イ. 不具合】 ☐有 ☒無

【ロ. 不具合記録】☐有 ☒無

【ハ. 改善の状況】☐実施済 ☐改善予定（ 年 月に改善予定） ☐予定なし

【16. 給水設備及び排水設備の検査者】

（代表となる検査者）

【イ. 資格】（ ）建築士（ ）登録第 号
建築設備検査員 第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】

（ ）建築士事務所（ ）知事登録第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

（その他の検査者）

【イ. 資格】（ ）建築設備検査員 第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】

（ ）建築士事務所（ ）知事登録第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

【17. 給水設備及び排水設備の概要】

【イ. 飲料水の配管設備】☐給水タンク（ 基 m^3 ）☐貯水タンク（ 基 m^3 ）

☐その他（ ）

【ロ. 排水設備】☐排水槽（☐汚水槽 ☐雑排水槽 ☐合併槽 ☐雨水槽・湧水槽）

☐排水再利用配管設備 ☐その他（ ）

【ハ. 圧力タンクの有無】☐有 ☐無

山梨県では、「給水設備及び排水設備」は
指定していないため、報告不要

【ニ. 給湯方式】 ☐局所式 ☐中央式

【ホ. 湯沸器】 ☐開放式燃焼器 ☐半密閉式燃焼器 ☐密閉式燃焼器
☐その他 ()

【18. 給水設備及び排水設備の検査の状況】

【イ. 指摘の内容】 ☐要是正の指摘あり (☐既存不適格) ☐指摘なし

【ロ. 指摘の概要】

【ハ. 改善予定の有無】 ☐有 (年 月に改善予定) ☐無

【19. 給水設備及び排水設備の不具合の発生状況】

【イ. 不具合】 ☐有 ☐無

【ロ. 不具合記録】 ☐有 ☐無

【ハ. 改善の状況】 ☐実施済 ☐改善予定 (年 月に改善予定) ☐予定なし

【20. 備考】

※第二面 6 欄、10 欄、14 欄【イ. 指摘の内容】について

別記第二号の検査結果表で、要是正の指摘ありの項目のうち

◆全て既存不適格の場合

→既存不適格にチェック

◆1つでも既存不適格でないものがある場合

→要是正の指摘ありのチェックのみ

建築設備に係る不具合の状況

【１．換気設備】

不具合を把握した年月	不具合の概要	考えられる原因	改善(予定)年月	改善措置の概要等
令和〇年〇月	機械換気設備の換気量	必要換気量の不足	令和〇年〇月	フィルターの清掃と交換
前回検査時以降に把握した不具合等で今回検査時に指摘されるものの以外のもの 原因が不明な場合は「不明」と記載 改善を行う予定がない場合は「－」 改善を行う予定がない場合は、その理由を明記				

【２．排煙設備】

不具合を把握した年月	不具合の概要	考えられる原因	改善(予定)年月	改善措置の概要等

※前回検査時以降の不具合を把握していない場合は第三面省略可

【３．非常用の照明装置】

不具合を把握した年月	不具合の概要	考えられる原因	改善(予定)年月	改善措置の概要等

【４．給水設備及び排水設備】

不具合を把握した年月	不具合の概要	考えられる原因	改善(予定)年月	改善措置の概要等

(注意)

1. 各面共通関係

- ① ※印のある欄は記入しないでください。
- ② 数字は算用数字を、単位はメートル法を用いてください。
- ③ 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入し添えてください。

2. 第一面関係

- ① 検査者が2人以上のときは、代表となる検査者を検査者氏名欄に記入してください。
- ② 1欄及び2欄は、所有者又は管理者が法人のときは、「ロ」はそれぞれ法人の名称及び代表者氏名を、「ニ」はそれぞれ法人の所在地を記入してください。
- ③ 第二面の6欄、10欄、14欄又は18欄のいずれかの「イ」において「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れた場合においては、4欄の「イ」の「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、それ以外のときは、「指摘なし」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。また、第二面の6欄、10欄、14欄及び18欄の「イ」の「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れたものの全てにおいて、「既存不適格」のチェックボックスに「レ」マークを入れたときは、併せて4欄の「イ」の「既存不適格」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ④ 4欄の「ロ」は、指摘された事項のうち特に報告すべき事項があれば記入してください。
- ⑤ 4欄の「ハ」は、第二面の6欄、10欄、14欄又は18欄のいずれかの「ハ」において改善予定があるとしているときは「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、第二面の6欄、10欄、14欄又は18欄の「ハ」に記入されている改善予定年月のうち最も早いものを併せて記入してください。
- ⑥ 4欄の「ニ」は、指摘された事項以外に特に報告すべき事項があれば記入してください。

3. 第二面関係

- ① この書類は、建築物ごとに、建築設備等の概要及び当該建築設備等の構造方法に係る検査結果について作成してください。
- ② 1欄の「ニ」は、検査対象の建築設備について、該当する全てのチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ③ 2欄の「イ」及び「ロ」は、検査対象の建築設備等に関する直前の確認（建築基準法第87条の4及び同法第88条第2項の規定により準用して適用される同法第6条第1項に規定する確認を含む。以下この様式において同じ。）について、「ハ」及び「ニ」は、検査対象の建築設備等に関する直前の完了検査について、それぞれ記入してください。
- ④ 2欄の「ロ」及び「ニ」は、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れ、「指定確認検査機関」の場合には、併せてその名称を記入してください。
- ⑤ 3欄の「イ」は、検査が終了した年月日を記入し、「ロ」は、検査対象の建築設備等に関する直前の報告について記入して下さい。
- ⑥ 3欄の「ロ」は、報告の対象となっていない場合には「未実施」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑦ 3欄の「ハ」は、前回の定期検査の結果を記録した書類の写しの保存の有無について記入してください。
- ⑧ 4欄から19欄までは、検査の対象となっていない建築設備等の欄には記入する必要はありません。

- ⑨ 4 欄、8 欄、12 欄及び16 欄は、代表となる検査者並びに検査に係る建築設備に係るすべての検査者について記入してください。当該建築設備の検査を行った検査者が 1 人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ⑩ 4 欄、8 欄、12 欄及び16 欄の「イ」は、検査者の有する資格について記入してください。検査者が建築設備検査員である場合は、建築設備検査員資格者証の交付番号を「建築設備検査員」の番号欄に記入してください。
- ⑪ 4 欄、8 欄、12 欄及び16 欄の「ニ」は、検査者が法人に勤務している場合は、検査者の勤務先について記入し、勤務先が建築士事務所のときは、事務所登録番号を併せて記入してください。
- ⑫ 4 欄、8 欄、12 欄及び16 欄の「ホ」から「ト」までは、検査者が法人に勤務している場合は、検査者の勤務先について記入し、検査者が法人に勤務していない場合は検査者の住所について記入してください。
- ⑬ 5 欄の「イ」は、換気のための有効な部分の面積が居室の床面積の20分の 1 未満となる居室（建築基準法第28条第 3 項に規定する特殊建築物の居室を除く。）について、「ロ」は、同項に規定する室（同項に規定する特殊建築物の居室を除く。）について記入し、それぞれ該当する室がない場合においては「無」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、「ハ」は、同項に規定する特殊建築物の居室について記入してください。
- ⑭ 17 欄の「イ」、「ロ」及び「ホ」は、それぞれ該当するチェックボックスに「レ」マークを入れ、「その他」の場合は併せて具体的な内容を記入してください。
- ⑮ 6 欄、10 欄、14 欄及び18 欄の「イ」は、検査結果において、是正が必要と認められるときは「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、当該指摘された箇所の全てに建築基準法第 3 条第 2 項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは併せて「既存不適格」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑯ 6 欄、10 欄、14 欄及び18 欄の「イ」の「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れたとき（「既存不適格」のチェックボックスに「レ」を入れたときを除く。）は、「ロ」に指摘の概要を記入してください。
- ⑰ 6 欄、10 欄、14 欄及び18 欄の「イ」の「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れ（「既存不適格」のチェックボックスに「レ」を入れたときを除く。）、当該指摘をうけた項目について改善予定があるときは「ハ」の「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、併せて改善予定年月を記入してください。改善予定がないときは「ハ」の「無」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑱ 前回検査時以降に把握した火災時の排煙設備不作動等機器の故障、異常動作、損傷、腐食その他の劣化に起因するもの（以下、「不具合」という。）について第三面の 1 欄、2 欄、3 欄又は 4 欄の「不具合の概要」欄に記入したときは、7 欄、11 欄、15 欄又は19 欄の「イ」の「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、当該不具合について記録が有るときは 7 欄、11 欄、15 欄又は19 欄の「ロ」の「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、記録が無いときは 7 欄、11 欄、15 欄又は19 欄の「ロ」の「無」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。また、第三面の 1 欄、2 欄、3 欄又は 4 欄に記入された不具合のうち当該不具合を受けた改善を既に実施しているものがあり、かつ、改善を行う予定があるものがない場合には 7 欄、11 欄、15 欄又は19 欄の「ハ」の「実施済」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、第三面の 1 欄、2 欄、3 欄又は 4 欄に記入された不具合のうち改善を行う予定があるものがある場合には 7 欄、11 欄、15 欄又は19 欄の「改善予定」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、併せて改善予定年月を記入し、改善の予定がない場合には 7 欄、11 欄、15 欄

又は19欄の「予定なし」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。

- ⑱ 9 欄の「イ」は、建築基準法施行令第128条の6第3項に規定する区画避難安全検証法により区画避難安全性能が検証された建築物のときは「区画避難安全検証法」のチェックボックスに、同令第129条第3項に規定する階避難安全検証法により階避難安全性能が検証された建築物のときは「階避難安全検証法」のチェックボックスに、同令第129条の2第4項に規定する全館避難安全検証法により全館避難安全性能が検証された建築物のときは「全館避難安全検証法」のチェックボックスに、それぞれ「レ」マークを入れ、「区画避難安全検証法」の場合は区画避難安全性能を検証した階を、「階避難安全検証法」の場合は階避難安全性能を検証した階を、併せて記入してください。建築基準法第38条（同法第66条、第67条の2及び第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定による特殊構造方法等認定、同法第68条の25第1項の規定による構造方法等の認定又は建築基準法の一部を改正する法律（平成10年法律第100号）による改正前の建築基準法第38条の規定による認定を受けている建築物のうち、当該適用について特に報告が必要なものについては「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、その概要を記入してください。
- ⑳ 9 欄の「ロ」、「ハ」及び「ニ」は、それぞれ該当する室がないときに「無」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、「ホ」は、「ロ」、「ハ」及び「ニ」以外の居室、廊下及び階段の用に供する部分について記入してください。
- ㉑ 各欄に掲げられている項目以外で特に報告すべき事項は、20欄又は別紙に記載して添えてください。

4. 第三面関係

- ① 第三面の1欄、2欄、3欄又は4欄は、前回検査時以降に把握した建築設備に係る不具合のうち第二面の6欄、10欄、14欄又は18欄において指摘されるもの以外のものについて、把握できる範囲において記入してください。前回検査時以降不具合を把握していない場合は、第三面を省略することができます。
- ② 「不具合を把握した年月」欄は、当該不具合を把握した年月を記入してください。
- ③ 「不具合の概要」欄は、当該不具合の箇所を特定した上で、当該不具合の具体的内容を記入してください。
- ④ 「考えられる原因」欄は、当該不具合が生じた原因として主として考えられるものを記入してください。ただし、当該不具合が生じた原因が不明な場合は「不明」と記入してください。
- ⑤ 「改善（予定）年月」欄は、既に改善を実施している場合には実施年月を、改善を行う予定がある場合には改善予定年月を記入し、改善を行う予定がない場合には「－」を記入してください。
- ⑥ 「改善措置の概要等」欄は、既に改善を実施している場合又は改善を行う予定がある場合に、具体的措置の概要を記入してください。改善を行う予定がない場合には、その理由を記入してください。

概要書 記載例

六条の二の二、第六条の三、第十一条の三関係）（A 4）

定期検査報告概要書

（建築設備（昇降機を除く。））

（第一面）

【1. 所有者】

【イ. 氏名のフリガナ】ヤマシ タロウ

【ロ. 氏名】山梨 太郎

【ハ. 郵便番号】000-0000

【ニ. 住所】〇〇市△△△1-1-1

【2. 管理者】

【イ. 氏名のフリガナ】ショウウシヤニナジ

【ロ. 氏名】所有者に同じ

【ハ. 郵便番号】

【ニ. 住所】

【3. 報告対象建築物】

【イ. 所在地】〇〇市△△1-2-2

【ロ. 名称のフリガナ】ホテル〇〇

【ハ. 名称】ホテル〇〇

【ニ. 用途】ホテル、飲食店

報告書の内容と相違がないよう記入する

【4. 検査による指摘の概要】

【イ. 指摘の内容】☒ 要是正の指摘あり（☐ 既存不適格） ☐ 指摘なし

【ロ. 指摘の概要】換気設備、排煙設備、非常用照明装置

【ハ. 改善予定の有無】☒ 有（令和〇年 〇月に改善予定） ☐ 無

【ニ. その他特記事項】

【5. 不具合の発生状況】

【イ. 不具合】☒ 有 ☐ 無

【ロ. 不具合記録】☒ 有 ☐ 無

【ハ. 不具合の概要】換気設備

【ニ. 改善の状況】☒ 実施済 ☐ 改善予定（ 年 月に改善予定）

☐ 予定なし（理由： ）

報告書で要是正の指摘があった項目については
第二面を作成し、添付する。
指摘事項がない場合は、第二面の添付は不要

建築設備の状況等

【1. 建築物の概要】

【イ. 階数】 地上 5 階 地下 1 階
【ロ. 建築面積】 500 m²
【ハ. 延べ面積】 2700 m²
【ニ. 検査対象建築設備】 ■換気設備 ■排煙設備 ■非常用の照明装置
□給水設備及び排水設備

【2. 確認済証交付年月日等】

【イ. 確認済証交付年月日】 昭和○年 ○月 ○日 第 000 号
【ロ. 確認済証交付者】 ■建築主事 □指定確認検査機関 ()
【ハ. 検査済証交付年月日】 昭和○年 ○月 ○日 第 111 号
【ニ. 検査済証交付者】 ■建築主事 □指定確認検査機関 ()

【3. 検査日等】

【イ. 今回の検査】 令和○年 ○月 ○日実施
【ロ. 前回の検査】 ■実施 (令和○年 ○月 ○日報告) □未実施
【ハ. 前回の検査に関する書類の写し】 ■有 □無

報告書の内容と相違がないよう記入する

【4. 換気設備の検査者】

(代表となる検査者)

【イ. 資格】 (1 級) 建築士 (大臣) 登録第 00000 号
建築設備検査員 第 号
【ロ. 氏名のフリガナ】 ヤマシ ジロウ
【ハ. 氏名】 山梨 次郎
【ニ. 勤務先】 ○○建築設計事務所
(1 級) 建築士事務所 (山梨県) 知事登録第 0000 号
【ホ. 郵便番号】 000-0000
【ヘ. 所在地】 ○○市△△1-2-3
【ト. 電話番号】 055-000-0000

(その他の検査者)

【イ. 資格】 () 建築士 () 登録第 D0000000 号
建築設備検査員 第 号
【ロ. 氏名のフリガナ】 ヤマシ サブロー
【ハ. 氏名】 山梨 三郎
【ニ. 勤務先】 株式会社○○
() 建築士事務所 () 知事登録第 号
【ホ. 郵便番号】 000-0000
【ヘ. 所在地】 ○○市△△1-1-2
【ト. 電話番号】 055-000-1111

【5. 換気設備の概要】

【イ. 無窓居室】 □自然換気設備 (系統 室) □機械換気設備 (系統 室)
□中央管理方式の空気調和設備 (系統 室)

【ホ. 居室等】 ☒ 吸引式 (6区画) ☐ 給気式 (区画) ☐ 無
【ヘ. 予備電源】 ☒ 蓄電池 ☒ 自家用発電装置 ☐ 直結エンジン ☐ その他 ()

【8. 非常用の照明装置の検査者】

(代表となる検査者)

【イ. 資格】 (1 級) 建築士 (大臣) 登録第 00000 号
建築設備検査員 第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】 ヤマシ ジロウ

【ハ. 氏名】 山梨 次郎

【ニ. 勤務先】 ○○建築設計事務所
(1 級) 建築士事務所 (山梨県) 知事登録第 0000 号

【ホ. 郵便番号】 000-0000

【ヘ. 所在地】 ○○市△△1-2-3

【ト. 電話番号】 055-000-0000

(その他の検査者)

【イ. 資格】 () 建築士 () 登録第 号
建築設備検査員 第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】

() 建築士事務所 () 知事登録第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

報告書の内容と相違が
ないよう記入する

【9. 非常用の照明装置の概要】

【イ. 照明器具】 ☒ 白熱灯 (126 灯) ☒ 蛍光灯 (6 灯)

☐ LEDランプ (灯) ☐ その他 (灯)

【ロ. 予備電源】 ☒ 蓄電池 (内蔵形) (居室 96灯、廊下 30灯、階段 6灯)

☐ 蓄電池 (別置形) (居室 灯、廊下 灯、階段 灯)

☐ 自家用発電装置 (居室 灯、廊下 灯、階段 灯)

☐ 蓄電池 (別置形) ・自家発電装置併用 (居室 灯、廊下 灯、階段 灯)

☐ その他 ()

【10. 給水設備及び排水設備の検査者】

(代表となる検査者)

【イ. 資格】 () 建築士 () 登録第 号
建築設備検査員 第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】

() 建築士事務所 () 知事登録第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

(その他の検査者)

【イ. 資格】

() 建築士

() 登録第

号

建築設備検査員

第

号

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】

() 建築士事務所

() 知事登録第

号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

【11. 給水設備及び排水設備の概要】

【イ. 飲料水の配管設備】 ☐ 給水タンク (基 m³) ☐ 貯水タンク (基 m³)

☐ その他 ()

【ロ. 排水設備】

☐ 排水槽 (☐ 汚水槽 ☐ 雑排水槽 ☐ 合併槽 ☐ 雨水槽・湧水槽)

☐ 排水再利用配管設備 ☐ その他 ()

【ハ. 圧力タンクの有無】 ☐ 有 ☐ 無

【ニ. 給湯方式】 ☐ 局所式 ☐ 中央式

【ホ. 湯沸器】 ☐ 開放式燃焼器 ☐ 半密閉式燃焼器 ☐ 密閉式燃焼器

☐ その他 ()

【12. 備考】

(注意)

この様式には、第三十六号の六様式に記入した内容と同一の内容を記入してください。第二面は、同様式第二面において指摘があつた建築設備についてのみ作成し、第一面に添えてください。

検査結果表 記載例

検査結果表 (換気設備)

※換気設備がない場合は添付不要

当該検査に關与した検査者	氏 名	調査書第二面4欄の検査者と一致させる	検査者番号
代表となる検査者	山梨 次郎		1
その他の検査者	山梨 三郎		2

番号	検査項目等			検査結果			担当 検査者 番号	
				指摘 なし	要是正	既 存 不適格		
1	法第28条第2項又は第3項に基づき換気設備が設けられた居室（換気設備を設けるべき調理室等を除く。）							
(1)	機械換気設備	機械換気設備（中央管理方式の空気調和設備を含む。）の外観	給気機の外気取入口並びに直接外気に開放された給気口及び排気口への雨水の侵入等の防止措置の状況	—	—	—	—	
(2)			給気機の外気取入口及び排気機の排気口の取付けの状況	—	—	—	—	
(3)			各居室の給気口及び排気口の設置位置	—	—	—	—	
(4)			各居室の給気口及び排気口の取付けの状況	—	—	—	—	
(5)			風道の取付けの状況	—	—	—	—	
(6)			風道の材質	—	—	—	—	
(7)			給気機又は排気機の設置の状況	—	—	—	—	
(8)			換気扇による換気の状況	—	—	—	—	
(9)			各居室の給気口及び排気口における物品の放置の状況	—	—	—	—	
(10)			機械換気設備（中央管理方式の空気調和設備を含む。）の性能	中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況	各居室の換気量	—	—	—
(11)	各居室の換気量	—			—	—	—	
(12)	中央管理方式の空気調和設備	空気調和設備の設置の状況			—	—	—	—
(13)	空気調和設備及び配管の外観	空気調和設備及び配管の劣化及び損傷の状況			—	—	—	—
(14)	空気調和設備の運転の状況	—			—	—	—	
(15)	空気ろ過器の点検口	—			—	—	—	
(16)	冷却塔と建築物の他の部分との離隔距離	—			—	—	—	
(17)	空気調和設備の性能	各居室の温度			—	—	—	—
(18)	各居室の相対湿度	—			—	—	—	
(19)	各居室の浮遊粉じん量	—			—	—	—	
(20)	各居室の一酸化炭素含有率	—	—	—	—			
(21)	各居室の二酸化炭素含有率	—	—	—	—			
(22)	各居室の気流	—	—	—	—			
2	換気設備を設けるべき調理室等							
(1)	自然換気設備及び機械換気設備	排気筒、排気フード及び煙突の材質	排気筒、排気フード及び煙突の取付けの状況	○			1	
(2)			給気口、給気筒、排気口、排気筒、排気フード及び煙突の大きさ	○			1	
(3)			給気口、排気口及び排気フードの位置	○			1	
(4)			給気口、給気筒、排気口、排気筒、排気フード及び煙突の設置の状況	○	○		1	
(5)			排気筒及び煙突の断熱の状況	○			1	
(6)			排気筒及び煙突と可燃物、電線等との離隔距離	○			1	
(7)			煙突等への防火ダンパー、風道等の設置の状況	○			1	
(8)			各居室の給気口及び排気口における物品の放置の状況	○			1	
(9)			煙突の先端の立ち上がりの状況（密閉型燃焼器具の煙突を除く。）	○			1	
(10)			自然換気設備	煙突に連結した排気筒及び半密閉式瞬間湯沸器等の設置の状況	—	—	—	—
(11)	機械換気設備	換気扇による換気の状況	給気機又は排気機の設置の状況	○			2	
(12)			給気機又は排気機の設置の状況	○			2	
(13)			機械換気設備の換気量	○			2	
3	法第28条第2項又は第3項に基づき換気設備が設けられた居室							
(1)	防火ダンパー等（外壁の開口部で延焼のおそれのある部分に設けるものを除く。）	防火ダンパーの設置の状況	防火ダンパーの取付けの状況	○			2	
(2)			防火ダンパーの作動の状況	○			2	
(3)			防火ダンパーの劣化及び損傷の状況	○	○		2	
(4)			防火ダンパーの点検口の有無及び大きさ並びに検査口の有無	○			2	
(5)			防火ダンパーの温度ヒューズ	○			2	
(6)			防火区画の貫通措置の状況	○			2	
(7)			連動型防火ダンパーの煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器の位置	○			2	
(8)			連動型防火ダンパーの煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器との連動の状況	○			2	
(9)			連動型防火ダンパーの煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器との連動の状況	○			2	
4	上記以外の検査項目等							
	付加項目がないため記入不要							
特記事項								
番号	検査項目等		指摘の具体的内容等		改善策の具体的内容等		改善（予定）年月	
2 (5)	給気口、給気筒、排気口、排気筒、排気フード及び煙突の設置の状況		給気口に取り付けられているネットの目詰まり		吸気口ネットの取り替え		令和○年○月	
3 (3)	防火ダンパーの作動の状況		軸受け部分にほこりが付着		清掃		令和○年○月	
				要是正の指摘があった場合又は特記すべき事項がある場合に記入				

(注意)

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の6様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は記入不要です。
- ④ 検査対象建築物に換気設備がない場合は、この様式は記入不要です。
- ⑤ 該当しない検査項目等がある場合は、当該項目の「検査結果」欄及び「担当検査者番号」欄に「－」を記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄は、別表第一（ろ）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表第一（ろ）欄に掲げる検査事項について同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑦に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑨ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑩ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入不要です。
- ⑪ 1 (10)「各居室の換気量」については、法第28条第2項又は第3項に基づき換気設備が設けられた居室（換気設備を設けるべき調理室等を除く。）の換気状況評価表（別表1）を添付してください。
- ⑫ 2 (13)「機械換気設備の換気量」については、換気設備を設けるべき調理室等の換気風量測定表（別表2）を添付してください。
- ⑬ 4「上記以外の検査項目等」欄は、第2第2項の規定により特定行政庁が検査項目等を付加している場合に、当該検査項目等を追加し、⑥から⑩までに準じて検査結果等を記入してください。また、第2第3項に規定する認定検査項目等が定められている場合に、当該認定検査項目等を追加し、⑥から⑩までに準じて検査結果等を記入してください。
- ⑭ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にであっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目等の番号、検査項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑮ 要是正とされた検査項目等（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添の様式に従い添付してください。

検査結果表
(排煙設備)

※排煙設備がない場合は添付不要

当該検査に関与した検査者	代表となる検査者	氏 名	山梨 次郎	検査者が1名のみの場合は記載不要	検査者番号
	その他の検査者				

調査書第二面8欄の検査者と一致させる

番号	検 査 項 目 等			検査結果			担当 検査者 番号
				指摘 なし	要是正	既 存 不適格	
1	令第123条第3項第2号に規定する階段室又は付室、令第129条の13の3第13項に規定する昇降路又は乗降ロビー、令第126条の2第1項に規定する居室等						
(1)	排煙機	排煙機の外観	排煙機の設置の状況	○			
(2)			排煙風道との接続の状況	○			
(3)			排煙出口の設置の状況	○			
(4)			排煙出口の周囲の状況	○			
(5)			屋外に設置された排煙出口への雨水等の防止措置の状況	○			
(6)		排煙機の性能	排煙口の開放と連動起動の状況	○			
(7)			作動の状況	○			
(8)			電源を必要とする排煙機の予備電源による作動の状況	○			
(9)			排煙機の排煙風量	○			
(10)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況	－	－	－	
(11)	排煙口	機械排煙設備の排煙口の外観	排煙口の位置	○			
(12)			排煙口の周囲の状況	○			
(13)			排煙口の取付けの状況	○			
(14)			手動開放装置の周囲の状況	○			
(15)			手動開放装置の操作方法の表示の状況		○		
(16)		機械排煙設備の排煙口の性能	手動開放装置による開放の状況	○			
(17)			排煙口の開放の状況	○			
(18)			排煙口の排煙風量	○			
(19)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況	－			
(20)			煙感知器による作動の状況	○			
(21)	排煙風道	機械排煙設備の排煙風道（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）	排煙風道の劣化及び損傷の状況	○			
(22)			排煙風道の取付けの状況	○			
(23)			排煙風道の材質	○			
(24)			防煙壁の貫通措置の状況	○			
(25)			排煙風道と可燃物、電線等との離隔距離及び断熱の状況	○			
(26)		防火ダンパー（外壁の開口部で延焼のおそれのある部分に設けるものを除く。）	防火ダンパーの取付けの状況	○			
(27)			防火ダンパーの作動の状況	○			
(28)			防火ダンパーの劣化及び損傷の状況	○			
(29)			防火ダンパーの点検口の有無及び大きさ並びに検査口の有無	○			
(30)			防火ダンパーの温度ヒューズ	○			
(31)			防火区画の貫通措置の状況	○			
(32)	特殊な構造の排煙設備	特殊な構造の排煙設備の排煙口及び給気口の外観	排煙口及び給気口の大きさ及び位置	－	－	－	
(33)			排煙口及び給気口の周囲の状況	－	－	－	
(34)			排煙口及び給気口の取付けの状況	－	－	－	
(35)			手動開放装置の周囲の状況	－	－	－	
(36)			手動開放装置の操作方法の表示の状況	－	－	－	
(37)		特殊な構造の排煙設備の排煙口の性能	排煙口の排煙風量	－	－	－	
(38)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況	－	－	－	
(39)			煙感知器による作動の状況	－	－	－	
(40)		特殊な構造の排煙設備の給気風道（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）	給気風道の劣化及び損傷の状況	－	－	－	
(41)			給気風道の材質	－	－	－	
(42)			給気風道の取付けの状況	－	－	－	
(43)		特殊な構造の排煙設備の給気送風機の設置の外観	防煙壁の貫通措置の状況	－	－	－	
(44)			給気送風機の設置の状況	－	－	－	
(45)			給気風道との接続の状況	－	－	－	
(46)		特殊な構造の排煙設備の給気送風機の性能	排煙口の開放と連動起動の状況	－	－	－	
(47)	作動の状況		－	－	－		
(48)	電源を必要とする給気送風機の予備電源による作動の状況		－	－	－		
(49)	給気送風機の給気風量		－	－	－		
(50)	中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況		－	－	－		
(51)	特殊な構造の排煙設備の給気送風機の吸込口	吸込口の設置位置	－	－	－		
(52)		吸込口の周囲の状況	－	－	－		
(53)		屋外に設置された吸込口への雨水等の防止措置の状況	－	－	－		
2	令第123条第3項第2号に規定する階段室又は付室、令第129条の13の3第13項に規定する昇降路又は乗降ロビー						
(1)	特別避難階段の階段室又は付室及び非常用エレベーターの昇降	排煙風道（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）	排煙機、排煙口及び給気口の作動の状況	－	－	－	
(2)			給気口の周囲の状況	－	－	－	
(3)			排煙風道の劣化及び損傷の状況	－	－	－	
(4)		給気口の外観	排煙風道の取付けの状況	－	－	－	
(5)			排煙風道の材質	－	－	－	
(6)			給気口の周囲の状況	－	－	－	
(7)		給気口の性能	給気口の取付けの状況	－	－	－	
(8)			給気口の手動開放装置の周囲の状況	－	－	－	
(9)			給気口の手動開放装置の操作方法の表示の状況	－	－	－	
(10)		給気口の性能	給気口の手動開放装置による開放の状況	－	－	－	
(11)			給気口の開放の状況	－	－	－	
(12)		給気風道（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）	給気風道の劣化及び損傷の状況	－	－	－	
(13)			給気風道の取付けの状況	－	－	－	
(14)			給気風道の材質	－	－	－	
(15)		給気送風機の外観	給気送風機の設置の状況	－	－	－	
(16)			給気風道との接続の状況	－	－	－	

排煙風量測定記録表(別表3)を添付

既存不適格の場合は「要是正」と「既存不適格」に○を記入

該当しない調査項目は「—」

排煙風量測定記録表(別表3-2)を添付

(17)	加圧防排煙設備	給気送風機の性能	給気口の開放と連動起動の状況	—	—	—	
(18)			給気送風機の作動の状況	—	—	—	
(19)			電源を必要とする給気送風機の予備電源による作動の状況	—	—	—	
(20)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況	—	—	—	
(21)		給気送風機の吸込口	吸込口の設置位置	—	—	—	
(22)			吸込口の周囲の状況	—	—	—	
(23)			屋外に設置された吸込口への雨水等の防止措置の状況	—	—	—	
(24)		遮煙開口部の性能	遮煙開口部の排出風速	—	—	—	
(25)			空気逃し口の大きさ及び位置	—	—	—	
(26)		空気逃し口の外観	空気逃し口の周囲の状況	—	—	—	
(27)			空気逃し口の取付けの状況	—	—	—	
(28)		空気逃し口の性能	空気逃し口の作動の状況	—	—	—	
(29)	圧力調整装置の大きさ及び位置		—	—	—		
(30)	圧力調整装置の外観	圧力調整装置の周囲の状況	—	—	—		
(31)		圧力調整装置の取付けの状況	—	—	—		
(32)	圧力調整装置の性能	圧力調整装置の作動の状況	—	—	—		
3 令第126条の2第1項に規定する居室等							
(1)	可動防煙壁	手動降下装置の作動の状況	—	—	—		
(2)		手動降下装置による連動の状況	—	—	—		
(3)		煙感知器による連動の状況	—	—	—		
(4)		可動防煙壁の材質	—	—	—		
(5)		可動防煙壁の防煙区画	—	—	—		
(6)		中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況	—	—	—		
4 予備電源							
(1)	自家用発電装置	自家用発電装置等の状況	自家用発電機室の防火区画等の貫通措置の状況	○			
(2)			発電機の発電容量	○			
(3)			発電機及び原動機の状況	○			
(4)			燃料油、潤滑油及び冷却水の状況	○			
(5)			始動用の空気槽の圧力	—			
(6)			セル始動用蓄電池及び電気ケーブルの接続の状況	○			
(7)			燃料及び冷却水の漏洩の状況	○			
(8)			計器類及びランプ類の指示及び点灯の状況	○			
(9)			自家用発電装置の取付けの状況	○			
(10)			自家用発電機室の給排気の状況（屋内に設置されている場合に限	○			
(11)			接地線の接続の状況	○			
(12)			絶縁抵抗	○			
(13)	自家用発電装置の性能	電源の切替えの状況	○				
(14)		始動の状況	○				
(15)		運転の状況	○				
(16)		排気の状況	○				
(17)		コンプレッサー、燃料ポンプ、冷却水ポンプ等の補機類の作動の状況	○				
(18)	直結エンジン	直結エンジンの外観	直結エンジンの設置の状況	—	—	—	
(19)			燃料油、潤滑油及び冷却水の状況	—	—	—	
(20)			セル始動用蓄電池及び電気ケーブルの接続の状況	—	—	—	
(21)			計器類及びランプ類の指示及び点灯の状況	—	—	—	
(22)			給気部及び排気管の取付けの状況	—	—	—	
(23)			Vベルト	—	—	—	
(24)			接地線の接続の状況	—	—	—	
(25)			絶縁抵抗	—	—	—	
(26)			直結エンジンの性能	始動及び停止並びに運転の状況	—	—	—
5 上記以外の検査項目等							
			付加項目がないため記入不要				
特記事項							
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月			
1(15)	手動開放装置の操作方法の表示の状況	吊り下げの手動開放装置の位置が1.8mよりも高い位置にある	手動開放装置の高さを下げる	令和○年○月			
		要是正の指摘があった場合又は特記すべき事項がある場合に記入					

（注意）

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の6様式第二面8欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は記入不要です。
- ④ 検査対象建築物に排煙設備がない場合は、この様式は記入不要です。
- ⑤ 該当しない検査項目等がある場合は、当該項目の「検査結果」欄及び「担当検査者番号」欄に「—」を記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄は、別表第二（ろ）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表第二（ろ）欄に掲げる検査事項について同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑦に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑨ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑩ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入不要です。
- ⑪ 1(9)「排煙機の排煙風量」及び1(18)「排煙口の排煙風量」については、排煙風量測定記録表（別表3）を添付してください。
- ⑫ 1(37)「排煙口の排煙風量」及び1(49)「給気送風機の給気風量」については、排煙風量測定記録表（別表3－2）を添付してください。

- ⑬ 2(24)「遮煙開口部の排出風速」については、排煙風量測定記録表（別表3－3）を添付してください。
- ⑭ 5「上記以外の検査項目等」欄は、第2第2項の規定により特定行政庁が検査項目等を付加している場合に、当該検査項目等を追加し、⑥から⑩までに準じて検査結果等を記入してください。また、第2第3項に規定する認定検査項目等が定められている場合に、当該認定検査項目等を追加し、⑥から⑩までに準じて検査結果等を記入してください。
- ⑮ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目等の番号、検査項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑯ 要是正とされた検査項目等（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添の様式に従い添付してください。

検査結果表
(非常用の照明装置)

※非常用の照明装置がない場合は添付不要

当該検査に関与した検査者	氏 名	検査者が1名のみの場合は記載不要	検査者番号
	代表となる検査者	山梨 次郎	
	その他の検査者		

調査書第二面12欄の検査者と一致させる

番号	検 査 項 目 等			指摘 なし	検査結果			担当 検査者 番号
					要是正	既 存 不 適 格		
1	照明器具			非常用の照明測定表 (別表4)を添付 ※毎年検査する				
(1)	非常用の照	使用電球、ランプ等		○				
(2)	明器具	照明器具の取付けの状況		○				
2	電池内蔵形の蓄電池、電源別置形の蓄電池及び自家用発電装置							
(1)	予備電源	予備電源への切替え及び器具の点灯の状況並びに予備電源の性能		○				
(2)	照度	照度の状況			○			
(3)		照明の妨げとなる物品の放置の状況		○				
(4)	分電盤	非常用電源分岐回路の表示の状況		○				
(5)	配線	配電管等の防火区画貫通措置の状況（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）		○				
3	電源別置形の蓄電池及び自家用発電装置							
(1)	配線	照明器具の取付状況及び配線の接続の状況（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）		—	—	—		
(2)		電気回路の接続の状況		—	—	—		
(3)		接続部（幹線分岐及びボックス内に限る。）の耐熱処理の状況		—	—	—		
(4)		予備電源から非常用の照明器具間の耐熱配線処理の状況（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）		—	—	—		
(5)	切替回路	常用の電源から蓄電池設備への切替えの状況		—	—	—		
(6)		蓄電池設備と自家用発電装置併用の場合の切替えの状況		—	—	—		
4	電池内蔵形の蓄電池							
(1)	配線及び充電ランプ	充電ランプの点灯の状況		○				
(2)		誘導灯及び非常用照明兼用器具の専用回路の確保の状況		○				
5	電源別置形の蓄電池							
(1)	蓄電池	蓄電池等の状況	蓄電池室の防火区画等の貫通措置の状況	—	—	—		
(2)			蓄電池室の換気の状況	—	—	—		
(3)			蓄電池の設置の状況	—	—	—		
(4)		蓄電池の性能	電圧	—	—	—		
(5)			電解液比重	—	—	—		
(6)			電解液の温度	—	—	—		
(7)		充電器	充電器室の防火区画等の貫通措置の状況	—	—	—		
(8)			キュービクルの取付けの状況	—	—	—		
6	自家用発電装置							
(1)	自家用発電装置	自家用発電装置等の状況	自家用発電機室の防火区画等の貫通措置の状況	—	—	—		
(2)			発電機の発電容量	—	—	—		
(3)			発電機及び原動機の状況	—	—	—		
(4)			燃料油、潤滑油及び冷却水の状況	—	—	—		
(5)			始動用の空気槽の圧力	—	—	—		
(6)			セル始動用蓄電池及び電気ケーブルの接続の状況	—	—	—		
(7)			燃料及び冷却水の漏洩の状況	—	—	—		
(8)			計器類及びランプ類の指示及び点灯の状況	—	—	—		
(9)			自家用発電装置の取付けの状況	—	—	—		
(10)			自家用発電機室の給排気の状況（屋内に設置されている場合に限	—	—	—		
(11)			接地線の接続の状況	—	—	—		
(12)			絶縁抵抗	—	—	—		
(13)		自家用発電装置の性能	電源の切替えの状況	—	—	—		
(14)			始動の状況	—	—	—		
(15)			運転の状況	—	—	—		
(16)			排気の状況	—	—	—		
(17)			コンプレッサー、燃料ポンプ、冷却水ポンプ等の補機類の作動の状況	—	—	—		
7	上記以外の検査項目等							
	付加項目がないため記入不要							

特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予 定）年月 令和〇年 〇月
2(2)	照度の状況	3階及び5階部分の非常用照明装置の照度不足	高出力な器具への取り替え	
		要是正の指摘があった場合又は 特記すべき事項がある場合に記入		

(注意)

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の6様式第二面12欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は記入不要です。
- ④ 検査対象建築物に非常用の照明装置がない場合は、この様式は記入不要です。
- ⑤ 該当しない検査項目等がある場合は、当該項目の「検査結果」欄及び「担当検査者番号」欄に「－」を記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄は、別表第三(ろ)欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表第三(ろ)欄に掲げる検査事項について同表(に)欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑦に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑨ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑩ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入不要です。
- ⑪ 2(2)「照度」については、非常用の照明装置の照度測定表(別表4)を添付してください。
- ⑫ 7「上記以外の検査項目等」欄は、第2第2項の規定により特定行政庁が検査項目等を付加している場合に、当該検査項目等を追加し、⑥から⑩までに準じて検査結果等を記入してください。また、第2第3項に規定する認定検査項目等が定められている場合に、当該認定検査項目等を追加し、⑥から⑩までに準じて検査結果等を記入してください。
- ⑬ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目等の番号、検査項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を()書きで記入してください。
- ⑭ 要是正とされた検査項目等(既存不適格の場合を除く。)については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添の様式に従い添付してください。